

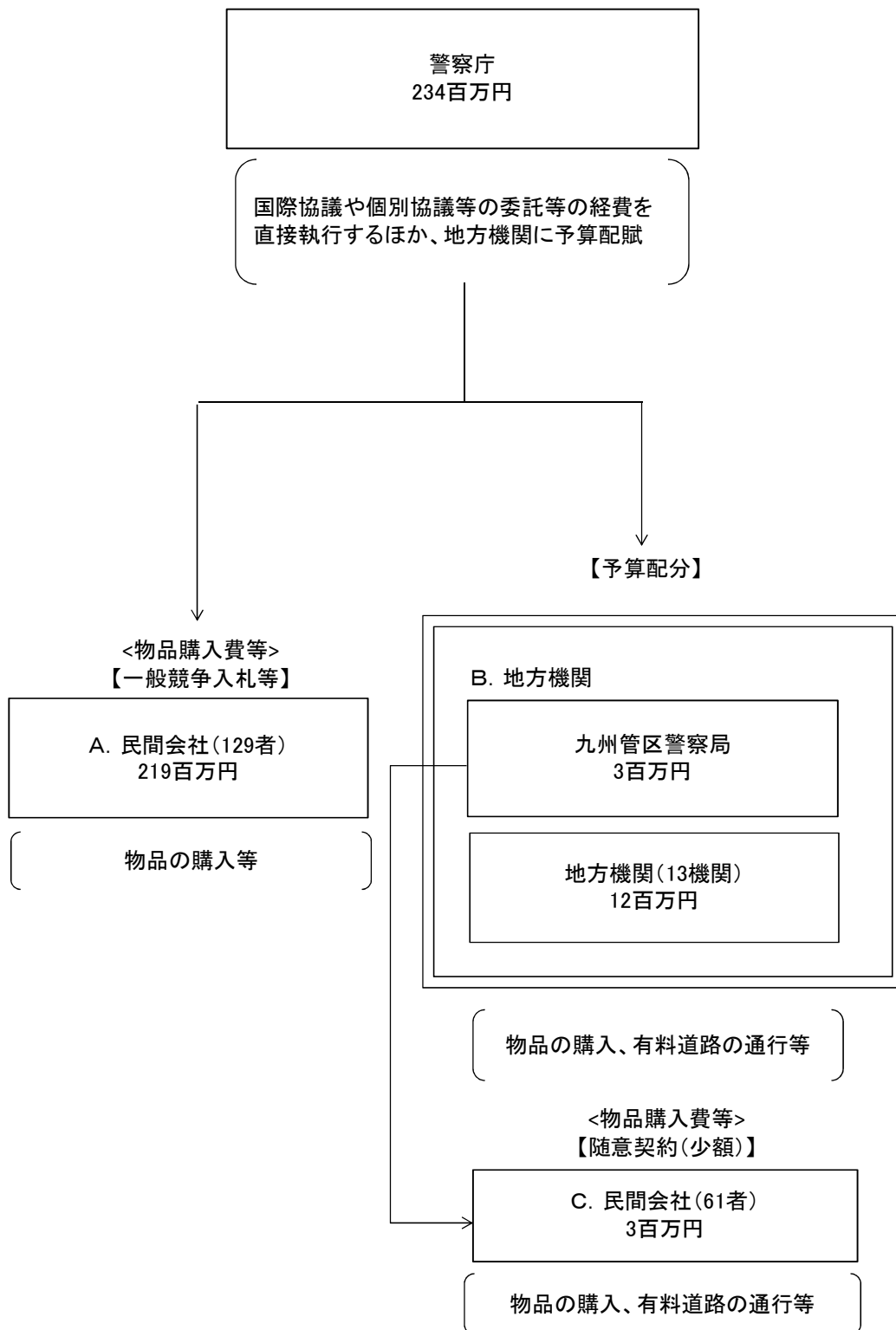
平成27年度行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	情報収集・分析機能の強化等			担当部局庁	警備局			作成責任者		
事業開始年度	不明	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	警備企画課			警備企画課長 新美 恭生		
会計区分	一般会計			政策・施策名	5 国の公安の維持 1 重大テロ事案等を含む警備犯罪への的確な対処 3 対日有害活動・国際テロ等の未然防止及びこれらの事案への的確な対処					
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-					
主要政策・施策	宇宙開発利用			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	依然として厳しい国際テロ情勢や緊迫化する東アジア情勢等に鑑み、情報収集・分析機能の強化を図り、テロ等の未然防止に万全を期する。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	国際テロ等の未然防止に向けて、我が国での協議の開催等を通じた外国治安情報機関との情報交換を推進するほか、各種公開情報の購入や情報収集活動を支える装備資機材の整備・保守等を通じて情報収集・分析機能の強化を図るものである。									
実施方法	直接実施、委託・請負									
予算額・執行額(単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	予算の状況	当初予算	272	205	278	347	350			
		補正予算	6	0	0					
		前年度から繰越し	0	0	0	0				
		翌年度へ繰越し	0	0	0					
		予備費等	0	0	0					
		計	278	205	278	347	350			
		執行額	243	188	234					
	執行率(%)	87%	92%	84%						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度
	情報収集活動等を通じた国際テロ等の未然防止		我が国における国際テロの発生状況		成果実績	件	0	0	0	
					目標値	件	0	0	0	-
					達成度	%	100%	100%	100%	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載									<input type="checkbox"/> チェック	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標					単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	情報収集・分析の実施回数(日常的に使用)				活動実績	-	-	-	-	
					当初見込み	-	-	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠					単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	年間執行額/年度				単位当たりコスト	千円	243,270	188,282	234,376	347,218
					計算式	執行額/年度	243,270千円/1	188,282千円/1	234,376千円/1	347,218千円/1
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目		27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	物品購入費		26	18	「新しい日本のための優先課題推進枠」37百万円					
	外部委託		317	330						
	印刷製本費		4	1						
計		347	349							

事業所管部局による点検・改善						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	厳しい国際テロ情勢を鑑み、テロ等の未然防止に万全を期すことは、国民や社会のニーズを反映したものである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	テロの未然防止に万全を期すことは、国が実施すべき事業である。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	テロの未然防止に万全を期すことは、必要かつ優先度の高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	競争性を確保した調達を実施している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	競争性を確保した調達を実施している。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	競争性を確保した調達を実施している。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業目的に即した執行を行っている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	毎年度、実績単価の反映及び仕様の見直しを行っており、今後も実施する。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	情報収集・分析機能の強化を図り、国際テロの未然防止に資するものである。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	毎年度、実績単価の反映及び仕様の見直しを行っており、今後も実施する。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みに見合った活動実績となっている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	国際テロ等の未然防止に活用している。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	依然として厳しい国際テロ情勢等を踏まえると、外国治安情報機関との緊密な情報交換や貞応収集・分析機能の強化については、引き続き取組を推進していく必要がある。				
	改善の方向性	毎年度、実績単価の反映及び仕様の見直しを図っており、今後も実施する。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き、適切かつ効率的な事業実施に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	特になし。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	当初6-6	平成23年度	38	平成24年度	25	
平成25年度	63	平成26年度	57			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	潜水技術訓練の受講	15			
計		15	計		0
B.九州管区警察局			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
予算配分	物品の購入、有料道路の通行等	3			
計		3	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト
 A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)海洋研究開発機構	潜水技術訓練の受講	15	随意契約	-
2	(株)ラック	サイバー攻撃・サイバー犯罪に係る情報提供業務	15	2	-
3	戦略国際問題研究所	職員の派遣	7	随意契約	-
4	エヌ・アール・アイ・セキュアテクノロジー(株)	サイバー攻撃への対処能力の強化に資する教養訓練業務	5	2	-
5	(有)アクアテック	国際携帯電話の借上げ	5	随意契約	-
6	コーンズ・アンド・カンパニー・リミテッド	海運情報提供サービス	3	1	-
7	(株)ブブルインターナショナル	国際携帯電話の借上げ	3	随意契約	-
8	(株)総合防災ソリューション	災害警備本部初動対処訓練業務	2	1	-
9	(株)ケーソフトエンタープライズ	外国語ウェブサイトモニタリング及び外国語翻訳	2	随意契約	-
10	(株)徳河	ノート型パソコンほか購入	2	随意契約	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	九州管区警察局	予算配分	3	-	-
2	関東管区警察学校	予算配分	2	-	-
3	近畿管区警察学校	予算配分	2	-	-
4	中国管区警察局	予算配分	1	-	-
5	近畿管区警察局	予算配分	1	-	-
6	中部管区警察学校	予算配分	0.9	-	-
7	東北管区警察学校	予算配分	0.7	-	-
8	中部管区警察局	予算配分	0.7	-	-
9	中国管区警察学校	予算配分	0.6	-	-
10	四国管区警察局	予算配分	0.6	-	-

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	西野木材(株)	外壁修繕	0.6	随意契約	-
2	藤久商店	懐中電灯ほか購入	0.4	随意契約	-
3	西日本高速道路(株)	電気料	0.3	随意契約	-
4	九州電力(株)	有料道路使用料	0.3	随意契約	-
5	(株)共栄建設	建具修理	0.3	随意契約	-
6	(株)エビス事務器	乾電池購入	0	随意契約	-
7	(株)九州山光社	懐中電灯購入	0	随意契約	-
8	(株)フジモト	蛍光灯ほか購入	0	随意契約	-
9	カギの救急車対馬店	建具修理	0	随意契約	-
10	(株)積文館書店	書籍購入	0	随意契約	-

情報収集・分析機能の強化等

依然として厳しい
国際テロ情勢

緊迫化する
東アジア情勢

テロ等の未然防止に万全を期すため

～ 情報収集・分析機能の強化 ～

- 外国治安情報機関との情報交換
- 各種公開情報の購入
- 情報収集活動を支える装備資機材の整備保守等